

5月11日（月）信号の色

^{あか}「^{ぜったいわた}赤では絶対渡らない」

^{こうつうあんぜんきょうしつ}交通安全教室で、^{いちねんせい}一年生が^{しどういん}指導員の

^{かた}方と^{やくそく}約束したことです。^{しんごうき}信号機の色

^{はなし}話です。^{みな}皆さんも、^わよく分かっていますよね。

^{しんごうき}信号機の三色、^{あか}赤、^き黄、^{みどり}緑には、^{りゆう}ちゃんと理由があ

るのです。さて、どうしてでしょうか。

^{しんごう}信号で一番大切なのは「^と止まれ」、^{あか}赤です。これが^み見

えずらかったら、^{こま}困ります。^{あか}赤は、^{とお}遠くからでも、^{よく}よく

^み見える色なのです。^{ゆうや}夕焼けが^{あか}赤く見えるのも、^{あか}赤が^{とお}遠く

まで見えるような色だからです。

^{あか}赤の次に、^{つき}遠くまで見える色が、^{きいろ}黄色です。だから

^{きいろ}黄色は「^{ちゅうい}注意しなさい」です。

^{みどり}緑は、^{あか}赤に^に似ていない色の中で、^{いちばんとお}一番遠くから^み見え

^{いろ}る色です。ということで、^{とお}遠くからでもよく見える色^み三

^{つか}つが使われているというわけです。

村越 新

